

駅前大通りの緑を育む ワークショップ#2

○豊橋まちなか未来会議が目指す同プロジェクトの目的・概要

昨年、駅前大通りを誰もが滞留しやすくするため、ベンチなどのストリートファニチャーの設置、ライトアップによる景観の演出、店舗出店など、歩行環境の向上に向けた実証実験を実施しました。その時に好評を得たベンチやプランターの設置による滞留空間創出に加えて、今年は沿道の方々の協力を得ながらプランターの植栽を育てていくことで、魅力的な駅前大通りの実現を目指すためWSを開催しています。

[昨年の実証実験の概要と結果はこちらから](#) (クリックするとまちなか活性課のHPへつながります。)

[第1回目のWSの振り返りはこちらから](#) (クリックするとまちなか情報ステーションHPへつながります。)

○什器の配置やデザイン、日常管理の仕組み提案

前回のワークショップで出た意見を踏まえて、この実証実験での設置物や設置場所・数などをお伝えし、みどりの維持管理を行う上での懸念や沿道の方々と市やTMO等の業務分担案などをお話しました。参加者からは維持管理への理解をいただいた一方で、目的の明確化や、ごみの対策、水やりを含む取組の継続性を高める工夫などの課題も挙げられました。



○什器（配置、デザイン、植栽）計画と

日常管理の仕組みについて

■什器計画

- 座面と中詰め材の間にゴミを捨てられないようにする工夫がある。
- 自転車道と歩道がいまいな通りなので、什器で視覚的にも分けることが出来そう。
- 秋から冬は寒いので、耐久性のあるレンガ調より温かみのある木・木目調の方が良いかも。

■日常管理

- 水やりの頻度を保つなど維持管理継続のため、実施日を定期的に決めるなど工夫がある。



今回は、設置物実際の維持管理に関する仕様や懸念を共有しました。これから店舗、住民など立場の違う方々からの多様な視点での意見を踏まえ、実験の準備を進めていきます。今年度は、みどりの維持管理の協力体制を築いていくため、小さく始めて、通り全体の居心地よさ向上につながる一歩となるよう官民で連携して進めていきたいですね。

次回、第3回目は10月中開催予定！